

第48回新潟県消防大会

新潟県消防大会

あいにくの天候となつた先月十日、消防庁長官（代理）並びに新潟県選出国会議員など多数の来賓を招き、第四十八回新潟県消防大会が岩室村民体育館及び岩中グラウンドで開催されました。

第48回新潟県消防大会

ポンプ操法競技大会



◆大会を盛り上げた和納仕掛け花火

“残念！ 岩室村入賞ならず”

【大会結果】

★ポンプ操法の部

- ①紫雲寺町 ②朝日村 ③新潟市東B

★小型ポンプ操法の部

- ①長岡市 ②上川村 ③関川村
- ④小千谷市 ⑤五泉市 ⑥両津市



◆郷土芸能もとび出して（両津市）



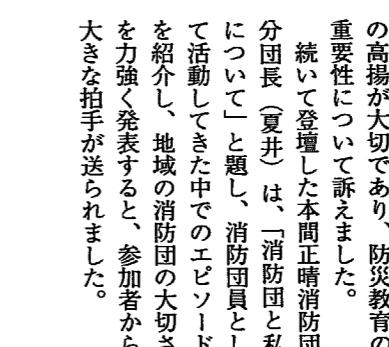
◆テントで応援する団員



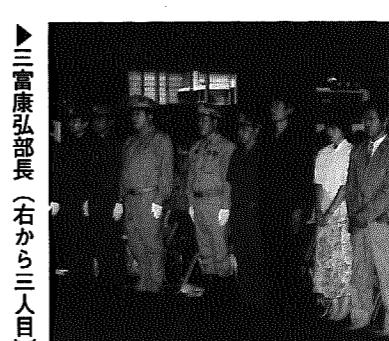
◆岩室村応援団



▶佐山昭則消防士



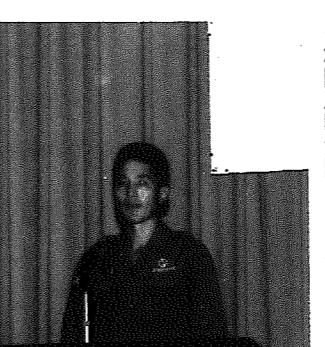
▶本間正晴消防団分団長



▶三富康弘部長（右から三人目）

式典では、殉職消防職員に黙とうをささげた後、新潟県知事（代理）のあいさつに続き意見発表に移り、岩室消防署の佐山昭則消防士が「今しなければならないこと」と題し、大規模な災害が発生している今日、過去の教訓を生かし、住民一人ひとりの防災意識の高揚が大切であり、防災教育の重要性について訴えました。

続いて登壇した本間正晴消防団分団長（夏井）は、「消防団と私について」と題し、消防団員として活動してきた中でのエピソードを紹介し、地域の消防団の大切さを力強く発表すると、参加者から大きな拍手が送られました。



意見発表の後表彰に移り、現場功労機関として、土石流災害の現場で活躍した糸魚川地域広域行政組合消防本部など、多数の団体、個人が表彰されました。そのうち、精勤章十年勤続一千二百六十一名を代表して、岩室村消防団三富康弘部長が表彰を受けました。